



▲市役所前を走る東久留米市デマンド型交通「くるぶー」

（一面から続く）
**自然と調和した安全
で快適なまち**

○ 地域防災の充実

地域防災の充実につきましては、「地域防災計画」の修正を令和3年度末を目途に進めております。また、大規模自然災害等に対応するための「国土強靱化地域計画」の策定に取り組んでまいります。全ての避難所において避難所運営連絡会が立ち上がり、今後も市民と行政の連携のもと、災害に強いまちづくりに向け防災体制を強化してまいります。

○ 都市計画
マスタープラン

都市計画マスタープランにつきましては、改定検討委員会において議論いただいております。令和3年中の改定に向け作業を進めてまいります。

○ 都市計画道路整備

東久留米市計画道路3・4・5号線および3・4・20号線が平成30年に開通いたしました。また、東久留米市計画道路3・4・13号線および3・4・21号線の幸町・小山・本町区間のうち、第1工区（幸町区間）および第2工区（小山・本町区間）につきましては、既に東京都より事業認可を受けており、着実に事業を進めてまいります。

○ 所沢街道の拡幅事業、
南沢通りの拡幅整備

所沢街道の歩道整備事業につきましては、東京都において歩道整備に向けた取り組みが着実に進められております。引き続き、相互に連携、協力し、早期に事業化が図られるよう取り組みを進めてまいります。また、南沢通り（市道207号線）については、歩行者や自転車利用者の安全性を確保できるよう、引き続き

用地取得に向けた取り組みを進めてまいります。

○ デマンド型交通の
実験 運行

地域公共交通の充実に向けては、子育て世帯や高齢者を対象として都内では初の試みとなる市内全域を対象地域とした「デマンド型交通「くるぶー」の実験運行を昨年3月より開始いたしました。引き続き、周知を図ってまいります。

○ 自転車駐車場整備事業

駅周辺の市営自転車等駐車場については、駅西側において2カ所の用地購入をいたしました。令和3年度に事業者の選定を行い、施設の運営、施設整備に向けた取り組みを順次進めてまいります。

○ 下水道事業

下水道事業については、今

3年度当初予算

○ 予算編成と概要

3年度一般会計予算は、448億2000万円で、前年度比10億3000万円、2.3%の増となりました。一般会計と国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計を合わせた総額は、700億5300万2千円で、前年度比11億9625万8千円、1.7%の増となっております。

○ 共に創るにぎわい
あふれるまち

延期となっております「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」につきましては、7月14日に本市に聖火がやっております。また、この聖火リレー

後取り組むべき施策を整理した「東久留米市公共下水道プラン（第2次）」を策定いたしました。あわせて中長期的な事業運営の指針となる「東久留米市下水道事業経営戦略」を取りまとめ、引き続き健全な事業運営を進めてまいります。

○ 空家等対策の推進

空家等の対策につきましては、各専門団体および事業者と連携を図り、所有者等からの相談体制を整え対応しております。今後も「東久留米市空家等対策計画」に基づいた対策を実施してまいります。

○ 生産緑地の保全

都市農業政策につきましては、新法を生産緑地が当初指定から30年を迎えるに当たり、特定生産緑地の指定作業を進めております。引き続き都市農地の計画的な保全と良好な

○ 家庭ごみの有料化

家庭ごみの有料化につきましては、事業の実施から3年

○ 緑地の保全、
都立六仙公園

緑地の保全につきましては、令和元年度より森林環境譲与税を活用し、官・学連携等による「向山緑地若返り事業」を実施しております。また、貴重な環境資源を有機的に繋げるために、昨年、向山緑地公園の拡幅に向けて都市計画の変更を決定し、令和3年度には事業認可を取得していく予定となっております。

○ 高齢者等
の
ごみ出し支援

が経過いたしました。ごみ排出量の削減につきましては、市民の皆さまのご理解・ご協力により、有料化以前と比較して減量化が進んできていると考えております。今後も環境省による「一般廃棄物処理有料化の手引き」により、毎年度の点検・検証を行ってまいります。また、ごみ集積所跡地については、跡地の状況に応じた対応を引き続き図ってまいります。

○ 子どもが豊かに
成長できるまち

平成5年度から6年度に建設された東久留米駅西口昇降施設につきましては、建築基準法に定める建築確認申請が当時されていないことが明らかになりました。当該施設の安全性は確認しておりますが、現状施設の建築基準法にかかる適合状況について、現状確認を含め調査を実施して特定行政庁へ報告してまいります。

○ いきいきと健康に
暮らせるまち

市道の無電柱化につきましては、「無電柱化推進計画」に基づき、計画的に取り組みを進めてまいります。

○ 安心して快適に
すごせるまち

災害発生時の非常用電源2時間の確保のため、市庁舎に再生可能エネルギー（太陽光発電）等を利用した非常用電源

絆ある地域で市民が活躍するまち

○ 市民みんなのまつりの
活性化（絆づくり事業）

「絆づくり事業」はこれまで5回実施され、年々その輪は大きくなるとともに、参加する世代にも広がりをみせております。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができませんでしたが、これまでの取り組みにより、市民一人ひとりの連帯感も高まってきているものと感じております。

○ 財政健全経営
計画の推進

次期の「財政健全経営計画」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に

○ 自然と共生する
環境にやさしいまち

「第三次緑の基本計画」の策定に向けた検討を進めてまいります。また、緑地保全優先度の高い対象地となつている柳窪天神社周辺および黒目川源流域の一部の緑地については、みどりの基金を活用して購入してまいります。

○ 基本構想実現のために

市史編纂につきましては、令和3年度より基本方針を取

より、策定を1年間延伸することいたしました。これに伴い、実行プランについてもローリングした上で、1年間延伸させていただきます。今後につきましては、財政健全経営計画検討会議の意見もいただきながら整理してまいります。

○ 今後の図書館の
運営 方法

図書館運営につきましては、令和3年度より中央図書館および3つの地区館を一体的に運営する指定管理者を導入し、市と指定管理者の役割分担による新たな運営を開始いたします。その拠点となる中央図書館は、大規模改修工事を終え、4月よりリニューアルオープンいたします。今後も、民間のもつノウハウや専門性を最大限活用し、良好な図書館サービスの提供に向けて取り組みを進めてまいります。

○ 公会計制度の活用

公会計制度につきましては、発生主義の会計を補完的に取り入れることにより、市民の皆さまに対してより説明責任を果たしていくことに繋がるものと考えております。

○ 業務プロセスの効率化

ICT利活用の推進につきましては、RPAを積極的に活用し業務効率化を図ってまいります。また、令和3年4月から文書管理システムを稼働し、庁内のデジタル化を推進するとともに、令和4年2月から人事給与システムを再構築し、会計年度任用職員の情報管理を一元管理いたします。

○ 広報ひがくるめ

中学1年生を対象とした移動教室につきましては、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。参加できなかった子どもたちのために、令和3年度は、1・2学年を対象として経費の一部を補助してまいります。

○ 広報ひがくるめ

「広報ひがくるめ」につきましては、令和4年1月7日号よりリニューアルし、全ページカラー印刷で発行してまいります。あわせて、広告掲載の拡大について検討するなど、広告料収入の確保に努めてまいります。

○ 広報ひがくるめ

情報セキュリティの強化、電子帳票化を促進するため、ビジネスチャット、フォームを導入し、市民の皆さまからの電子申請サービスにも資するよう、デジタル環境を整えてまいります。また、印刷から封入製本まで可能とする多機能プリンターを導入し、業務効率化を進め、事務負担の軽減を図ってまいります。

○ 広報ひがくるめ

今こそ大切な言葉として、令和3年の1文字を「希（のぞみ）」といたしました。厳しい時代だからこそ希望が大切です。皆さまとともに「希望」溢れる輝かしい東久留米の発展を成し遂げてまいります。